

6/8 (金) 5:00 ~ 6:30 街並散策  
9:30 ~ クロイツベルグのハイキング  
修道院にて食事 + ビアガーデン  
1:30 ~ 18:30 パートブリュケナウの庭園  
散歩 + 休憩  
19:30 ~ ホテルにて夕食

6/9 (土) 8:50 ~ フルダへ  
環境センター  
1994年設立  
役割  
環境教育 + 広域的 + 助言  
展示会、案内、ワークショップ、講演会を行う  
自主的に活動  
国内に1000ヶ所程度の活動施設がある  
水、エネルギー、庭づくりについての質問が多い  
どこの施設に行けば応えられるか指導、助言する。  
庭の植物は有機栽培でエコロジーになっている。  
施設の壁は防音、3重ガラスになっている  
エントツの手前で熱交換して利用している  
壁の断熱材は古新聞から抽出したセルローズ  
排水は浄化池の植物で浄化される

#### 1970年代

都市をドームの中に入れる  
ユートピア的に思われていた  
技術で全てが解決すると思われていた時代  
ユートピアは怖いものと思うようになって来た  
不安が募る  
エコロジー案(代替案)が示される  
きれいなものを取り入れ汚いものを排出する  
循環型

#### 1980年

アメリカ 生活そのものが環境に共生する思想  
公共に依存するのではなく個々が自立すること  
太陽、風、水、植物、動物、コンポストその他の役割  
各々の町の役割はどうあるべきか  
都市の中ではどうすればエコロジーができるか  
自然とのハーモニー  
庭が果たす役割は大きい  
壁面緑化、屋根の緑化 断熱効果が大きい  
植物を建物の一部として考える  
技術の発展で失われてたものを見直す  
庭の池 気温を安定させる、魚が住める、反射光で室内を明るくする  
効果がある